

川内北小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 自分や友だちの思いや考えを大切に、主体的に表現できる子どもの育成
- 自ら課題を見出し、成長を実感できる授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
1学年主任	教頭 教務主任 研修主任 5学年主任 特別支援学級主任 2学年主任 3学年主任 4学年担任 6学年担任

校長

麻植 稔夫

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○意欲的に学習に取り組む児童が多い。 ●基本的な学習習慣が身に付いていない児童がいる。 ●学力に個人差が見られる。語彙力が低く、問題を読み取る力や書く力が低い。	・学年の実態に応じた読み・書き・計算の基礎的・基本的な力を身に付けることができる。 ・書かれた言葉や文から、自分や友だちの思いや考えを発表したり、書いたりすることができる。	・学年始めに学習規律(川北スタンダード)の徹底を図る。児童の実態に沿って、見通しがもてる学習内容を心掛け、学んだ内容がわかるノート指導を充実させる。 ・書かれてある内容や要点にアンダーラインを引いたり、考えをノートに書いたりして読み取る力や語彙力を高める。	・川北スタンダードの徹底を図り、学習規律を身に付けるようにする。 ・基礎的・基本的な力を身に付け、語彙力を増やすために、「朝活」や「朝読」の充実を図る。	・基礎的な学力の定着が見られるよう、わかる授業を心がけているが、児童の学習への構えが不十分なところに課題がある。 ・学年に応じて、ラインを引いた読み取りができるようになってきた。自分の考えや振り返りをノートに書けるようになってきた。	・学習への構えが整えられるように学習規律(川北スタンダード)の徹底を図る。 ・「朝読」「朝活」の時間を確保することで、語彙を増やし、漢字や新たな表現方法が使えるようにする。 ・ノート指導の充実を図る。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○見通しのつく課題には真面目に取り組む児童が多い。また、自分の考えを積極的に発言したり、書いたりする児童が増えてきている。 ●筋道を立てて文章を表現したり、既習事項から情報を選択し、説明したり書いたりすることに課題がある。	・自分の意見を積極的に発言できる。また、友だちの意見を受け入れることができる。 ・話し合い活動を通して、自分の意見や相手の意見を明確にしたり、新しい考えを出し合ったりすることができる。	・「川北スタンダード・授業編」を実践し、発表のルールを定着させる。 ・タブレット端末を使用し、友だちの意見を交換したり、理由を共有したりすることができるように効果的に利用する。	・朝や帰りの会、授業で児童の考えや思いを伝え合い、聞き合える場を増やす。 ・タブレット端末の積極的な活用を図る。	・活発に意見や考えを発表する児童が増えてきたが、お互いの考えを共有したり、発展させたりするのは十分とは言えない。 ・明確な解答を出すことができても、学習過程を自分の言葉で相手によくわかるように説明することに課題が残る。	・ペアワークやグループ活動を取り入れ、児童が話を最後まで聞き、自主的に発表ができるようにする。 ・タブレット端末を活用した活動の機会を増やし、情報活用能力の向上をめざす。 ・児童が疑問をもったり、面白いと感じたりするような学習計画を立て、めあてをもって学習活動に取り組めるようにする。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題には一生懸命取り組む児童が多い。 ●自ら課題を見付けたり、課題解決に向けて主体的に取り組んだりすることに苦手意識がある児童が多い。	・友だちの意見や考えを認めたり、感想を発表したりする時間を設け、互いのよさを共有できる。 ・グループ活動や話し合い活動を通して、課題に向き合う方法を考えることができる。	・「川北スタンダード・学習規律編」ができているか週のめあてとして意識付ける。 ・児童が主体的に活動できるように、めあてや目的を明確にした授業内容を計画していく。	・発表の仕方や聞き方の指導の徹底をする。 ・児童がめあてを決めて学習できるように授業内容を計画し、振り返りを徹底する。	・前向きに学習に取り組む児童が増えてきたが、自ら課題を見付けたり、課題解決に取り組んだりすることが十分でなく、指示待ちになってしまっているところを改善させることが課題である。 ・振り返りを次時に生かすことで、新たな「問い」の発見ができるようになってきた。	・発表の仕方や聞き方について、引き続き指導を継続し、互いのよさを引き出し、主体的な学びに向かうことができるようにする。 ・グループ活動や話し合い活動を積極的に取り入れ、今後も協動的に学ぶことができる授業づくりに取り組む。

令和6年度 学力向上ロードマップ

